

令和5年7月21日

太子町議会議長 松浦崇志様

福祉文教常任委員会
委員長 森田哲夫

所管事務調査報告書

本委員会の調査事件について、下記のとおり報告します。

記

1 調査事件名

(1) 所管事務調査

(生活福祉部社会福祉課)

- ① 保育所待機児童数の推移（過去5年間）と就学前児童に対する今後の対策は。
- ② 学童保育園における長期休暇中の保育内容と今後の体制は。
- ③ 保育所及び社会福祉施設におけるコロナ対策の検証と5類移行後の対応は。
- ④ 国の「こども家庭庁構想」の動向における太子町での幼保一元化の対策は。

(教育委員会管理課)

- ① 就学前の幼稚園の在り方と幼保連携における今後の体制は。また、3歳児からの受け入れ状況と今後の計画は。
- ② 社会福祉課と教育委員会との連携体制についてどう進めるのか。
- ③ 幼稚園・小学校・中学校におけるコロナ対策の検証と5類移行後の対応は。
- ④ タブレット端末の使用状況と活用効果は。

「資料要求」

給食の肉類を中心とした食材の入札結果は。(管理課 給食センター)

(2) 課題調査

手話言語条例の制定について

(3) その他

2 調査年月日

令和5年7月12日(水) 午前10時 ～ 午前11時29分

3 調査等の経過及び意見

(1) 所管事務調査

(生活福祉部社会福祉課)

主な質疑内容：就学前の児童に対する対策についての質疑に、こども家庭庁が今年4月に設置され、その政策の中に未就園の子ども達の居場所づくりが掲げられている。今後、町としても子育て支援を一括で行う部署を創設し検討していくとの答弁があった。

コロナ対策の検証についてはとの質疑に、福祉施設にアンケート調査を実施し、現在取りまとめており、後日報告したいとの答弁があった。

(教育委員会管理課)

主な質疑内容：幼保連携を含めた幼稚園の在り方をどうするのかとの質疑に、幼稚園は残すこととし、機能集約化にむけて検討していきたいとの答弁があった。学校園におけるコロナの5類移行後の対応はとの質疑に、マスクについては個人の判断となっているが、基本的には登下校、野外での活動・運動・遊びは熱中症対策も含め、外すように指導しているとの答弁があった。

(2) 課題調査

手話言語条例の制定について

委員長が生活福祉部長に行政側の考え方について意見を聞き、次回の委員会で委員に報告して今後の方針・方向性について議論することとした。

(3) その他

- ・次回の委員会は8月9日(水)午前10時より開催し、課題調査を行う。当局への課題調査及び所管事務調査についての質問事項があれば、7月21日(金)正午までに事務局に提出をすることを確認した。